

巻頭言

Imaging Polarimetry in 2015 ..... Russell Chipman

総合報告

偏光イメージング技術の最近の動向.....大谷幸利

解説

空間キャリアを用いたチャネルド偏光計測法に基づく

スナップショット偏光分布計測.....岡 和彦

空間分割多重に基づく偏光イメージングデジタルホロ

グラフィック.....田原 樹ほか

電気光学結晶を用いたテラヘルツ偏波イメージング

.....渡邊紳一ほか

最近の技術から

液晶素子を用いた生体試料の複屈折イメージング

.....能勢敏明ほか

懸濁液の後方散乱ミューラー行列画像の計測

.....山岸 進

気になる論文コーナー

今後の特集予定

44 巻 6 号「細胞機能に迫る非染色非破壊イメージング技術」

44 巻 7 号「暮らしの中の光学製品技術開発の潮流」

44 巻 8 号「情報の表示・記録のための光学ポリマー材料」

44 巻 9 号「フォトニクスが拓く次世代ものづくり技術」

44 巻 10 号「補償光学の新展開—天体望遠鏡から顕微鏡へ」

44 巻 11 号「オプトジェネティクス」

今号では、例年の「日本光学会の研究動向」をお届けしています。各分野において第一線でご活躍の方々に、2014 年に開催された学会や研究会、出版論文等の内容を精査いただき、最新の研究動向が把握できるようにまとめていただきました。

2014 年は、青色 LED のご研究で、中村先生、赤崎先生、天野先生がノーベル物理学賞を受賞され、また、超解像顕微鏡の研究では外国の研究者がノーベル化学賞を受賞されました。これらはニュース等で大きく取り上げられ、記憶に新しいと思います。日本の科学技術が高く評価され、光学分野が注目されて社会により広く浸透した感があります。また、2013 年には国際連合総会で 2015 年を「国際光年」とすることが宣言され、今年は、光に関する研究・開発・教育の進展に向けて世界へ呼びかける年であり、まさに今年 1 月には、日本光学会が独立した学会として活動を開始しました。このように、昨年からは光学にはホットで関係深い年といえます。これを機会に、より多くの方々、特に将来を担う若い方々や理工系の学生に少しでも多く光学に興味をもっていただき、近い将来、光学のドアをノックしてもらいたいと思います。

末筆にて恐縮ですが、ご執筆いただいた皆様には、ご多忙中にもかかわらず執筆をご快諾いただき、また、1 年間に及ぶ調査と、大変興味深い貴重な原稿を賜りましたことに、心より感謝いたします。

(石樽, 佐藤, 高田)

特集関連の原著論文を募集しています

「光学」では上記テーマの特集を企画しています。これに合わせて、特集テーマに関連のある原著論文を募集いたします。投稿締切は、当該特集号の発行月の 4 か月前の 10 日とします。

特集関連の論文については査読作業をより迅速化し、採択となった論文はその特集号の発刊に合わせて掲載するようにいたします。特集号を明記のうえご投稿ください。詳しくは「光学」編集局 kogaku@academic-j.co.jp にお問い合わせください。

日本光学会ホームページ <http://myOSJ.or.jp/>

光 学 2015 ©

第 44 巻 第 4 号 <月刊>

2015 年 4 月 10 日 発行

定価 1,500 円 (送料実費)

発行/ 一般社団法人 日本光学会

〒173-0004 東京都板橋区板橋 2-65-6

板橋区情報処理センター 5 階

E-mail: info@myOSJ.or.jp

印刷/ 大昭和印刷株式会社

「光 学」編集委員会

佐藤 学*	早崎 芳夫**、†	赤尾 佳則	石田 邦夫
井戸 哲也	居波 渉	小里貞二郎	川内 聡子
河野 裕之	瀬尾 学	鈴木 将之	竹内 晃久
谷口 敦史	鶴町 徳昭	永井 岳大	坂野 斎
福田 一帆	藤井 透	増田 浩次	水野真太郎
松田 融	室井 哲彦	山添 昇吾	山本 俊
山本 裕紹	吉田 剛洋	吉富 大	和田 健司†

\*委員長 \*\*副委員長 †光科学及び光技術調査委員長

編集局 岩崎 恵美

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-23-11 常光ビル 7F

有限会社 学術新報社

電話 03-3816-3991 Fax 03-3816-3992

E-mail: kogaku@academic-j.co.jp